

航路及び航空路の動向について

交通政策局
平成26年7月

1 外貿コンテナ航路の動向

(1) 平成25年度(4月～3月)外貿コンテナ取扱量(速報値)の状況

ア 全体(県内港計)

- ・ 総数は対前年度比105.6%、実入りは対前年度比106.6%となった。

イ 新潟港

- ・ 総数は対前年度比105.2%、実入りは対前年度比105.9%となった。
- ・ 実入りのうち輸出は、円安基調等により、紙・パルプや古紙等の再利用資材が伸びたことなどから、対前年度比106.6%となった。
- ・ 輸入は、軽工業品の製造食品や主要貨物である雑工業品のうち、衣服・身廻品・はきもの等が落ち込んだものの、文房具・運動娯楽用品・楽器や建築資材等が好調だったことなどから、対前年度比105.5%となった。

ウ 直江津港

- ・ 総数は対前年度比107.9%、実入りは、対前年度比110.9%となった。
- ・ 実入りのうち輸出は、円安基調等により、化学工業品や産業機械等が伸びたことなどから、対前年度比116.0%となった。
- ・ 輸入は、紙・パルプや農生產品等が落ち込んだものの、化学工業品や建築資材等が好調だったことなどから、対前年度比107.4%となった。

平成25年度(4月～3月)県内港の外貿コンテナ取扱状況(速報値)

(単位:TEU)

		〈総数(空コン込み)〉			〈実入り〉			
		H25年度	H24年度	(H25/H24)	H25年度	H24年度	(H25/H24)	
県内港計	輸出	110,041	103,431	(106.4%)	56,755	52,527	(108.0%)	
	輸入	108,398	103,448	(104.8%)	100,479	95,011	(105.8%)	
	合計	218,439	206,879	(105.6%)	157,234	147,538	(106.6%)	
内	新潟港	輸出	94,412	89,536	(105.4%)	47,515	44,562	(106.6%)
		輸入	93,126	88,694	(105.0%)	87,720	83,131	(105.5%)
		合計	187,538	178,230	(105.2%)	135,235	127,693	(105.9%)
訳	直江津港	輸出	15,629	13,895	(112.5%)	9,240	7,965	(116.0%)
		輸入	15,272	14,754	(103.5%)	12,759	11,880	(107.4%)
		合計	30,901	28,649	(107.9%)	21,999	19,845	(110.9%)

(2) 平成26年(4月～5月)外貿コンテナ取扱量(速報値)の状況

ア 全体(県内港計)

- ・ 総数は対前年同期比 104.2%、実入りは対前年同期比 102.6%となった。

イ 新潟港

- ・ 総数は対前年同期比 102.8%、実入りは対前年同期比 99.9%となった。
- ・ 実入りのうち輸出は、紙・パルプや古紙等の再利用資材が落ち込んだことなどから、対前年同期比 89.9%となった。
- ・ 輸入は、衣服・身廻品・はきもの等が伸びたことなどから、対前年同期比 106.1%となった。

ウ 直江津港

- ・ 総数は前年同期比 114.8%、実入りは対前年同期比 122.8%となった。
- ・ 実入りのうち輸出は、化学工業品等が伸びたことなどから、対前年同期比 105.4%となった。
- ・ 輸入は、建築資材等が伸びたことなどから、対前年同期比 139.6%となった。

平成26年(4月～5月)県内港の外貿コンテナ取扱状況(速報値)

(単位:TEU)

		〈総数(空コン込み)〉			〈実入り〉			
		H26年	H25年	(H26/H25)	H26年	H25年	(H26/H25)	
県内港計	輸出	19,158	18,255	(104.9%)	9,731	10,553	(92.2%)	
	輸入	18,961	18,327	(103.5%)	17,796	16,270	(109.4%)	
	合計	38,119	36,582	(104.2%)	27,527	26,823	(102.6%)	
内	新潟港	輸出	16,624	16,011	(103.8%)	8,099	9,004	(89.9%)
		輸入	16,494	16,215	(101.7%)	15,565	14,672	(106.1%)
		合計	33,118	32,226	(102.8%)	23,664	23,676	(99.9%)
訳	直江津港	輸出	2,534	2,244	(112.9%)	1,632	1,549	(105.4%)
		輸入	2,467	2,112	(116.8%)	2,231	1,598	(139.6%)
		合計	5,001	4,356	(114.8%)	3,863	3,147	(122.8%)

(3) 外貿コンテナ航路改編等の状況

- ・ 「南星海運」が、新潟港から釜山港への航路を開設(H26.6.13寄港便から)

2 航空路の動向

平成25年度 (H25. 4. 1~H26. 3. 31)

(1) 全体

- ・国内線の利用者が堅調な推移であったことに対し、国際情勢の影響等によりソウルなどの国際線の利用者数が前年度を下回った。
- ・全体では約3万人増の101万7千人（対前年度比103.1%）となり、平成20年度（1,048,934人）以来、5年振りに100万人超を達成。

(2) 国内線

- ・大阪線の上期からの増便（日本航空：3便/日→4便/日）や、成田線の路線認知度向上、伊勢式年遷宮への旅行需要等により、利用者数は大幅に増加し、対前年度比106.5%の86万3千人となった。

(3) 国際線

- ・ハルビン線の利用者が中国人の帰省や訪日旅行等により順調に推移したものの、国際情勢の影響等によりソウル線、上海線の利用者数が減少したことで、利用者数は対前年度比87.4%の15万4千人となり、昨年度実績を下回った。

平成25年度 新潟空港利用状況

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(単位：人)

		25年度		24年度		対前年度比	
		利用者数	利用率	利用者数	利用率	増減	比率
国内線	札幌線	162,038	48.1%	159,034	50.2%	3,004	101.9%
	成田線	24,028	45.0%	17,771	33.8%	6,257	135.2%
	佐渡線	439	33.9%	4,959	38.1%	△4,520	8.9%
	名古屋線	100,143	61.4%	101,556	52.8%	△1,413	98.6%
	中部国際	60,239	56.2%	54,742	51.7%	5,497	110.0%
	名古屋(小牧)	39,904	71.4%	46,814	54.2%	△6,910	85.2%
	大阪線	402,548	64.9%	364,302	66.1%	38,246	110.5%
	福岡線	133,879	56.3%	124,844	51.3%	9,035	107.2%
	沖縄線	39,939	61.6%	36,985	60.0%	2,954	108.0%
	臨時・チャーター便	156	49.1%	762	85.1%	△606	20.5%
	国内計	863,170	58.4%	810,213	56.6%	52,957	106.5%
国際線	ハバロフスク線						
	ウラジオストク線						
	ソウル線	75,272	64.8%	100,805	78.9%	△25,533	74.7%
	ハルビン線	32,834	62.7%	25,373	62.2%	7,461	129.4%
	上海線	14,166	52.2%	18,978	44.7%	△4,812	74.6%
	グアム線	13,320	61.9%	14,410	57.6%	△1,090	92.4%
	台北線	8,266	72.5%	5,260	75.2%	3,006	157.1%
	定期計	143,858	62.9%	164,826	67.8%	△20,968	87.3%
	チャーター便	(66便)		(70便)		(△4便)	
		9,743	86.1%	10,867	80.4%	△1,124	89.7%
国際計	153,601	64.0%	175,693	68.5%	△22,092	87.4%	
合計	1,016,771	59.2%	985,906	58.4%	30,865	103.1%	

(利用率 = 利用者数 / 提供座席数)

平成 26 年度 (H26. 4. 1~H26. 5. 31)

(1) 全 体

- ・平成 26 年度 4 月から 5 月の新潟空港利用者数は 16 万 5 千人で、対前年度比 100.6% となっている。

(2) 国内線

- ・国内線全体の利用者数は、14 万 6 千人で対前年度比 102.1% となっている。
- ・平成 26 年度上期において機材が大型化された大阪伊丹線が利用者数を伸ばしているほか、成田線の認知度の向上等により、国内線の利用者数は堅調に推移している。

(3) 国際線

- ・国際線全体の利用者数は、1 万 9 千人で対前年度比 90.3% となっている。
- ・ソウル線は、4 月から毎日運航が再開したものの、国際情勢の影響により旅行需要の減少が続き、利用者数は前年を下回っている。
- ・ハルビン線については、在日中国人の生活路線としての安定した需要に加え、訪日観光旅行への需要も高まっており、7 月 7 日からは週 4 便に復便する予定である。

平成 26 年度 新潟空港利用状況
(平成 26 年 4 月 1 日~平成 26 年 5 月 31 日)

(単位：人)

		26年度		25年度		対前年度比	
		利用者数	利用率	利用者数	利用率	増 減	比 率
国 内 線	札幌線	22,569	40.1%	22,298	51.5%	271	101.2%
	成田線	3,768	41.7%	3,522	29.8%	246	107.0%
	佐渡線						
	名古屋線	15,086	54.5%	16,397	43.4%	△ 1,311	92.0%
	中部国際	8,825	48.9%	9,119	45.9%	△ 294	96.8%
	名古屋(小牧)	6,261	65.0%	7,278	40.5%	△ 1,017	86.0%
	大阪線	74,127	68.2%	69,032	66.6%	5,095	107.4%
	福岡線	21,272	52.4%	21,987	47.4%	△ 715	96.7%
	沖縄線	9,347	60.8%	9,939	61.3%	△ 592	94.0%
	臨時・チャーター便			13		△ 13	
	国内計	146,169	56.7%	143,188	55.3%	2,981	102.1%
	国 際 線	ハバロフスク線					
ウラジオストク線							
ソウル線		11,370	57.4%	12,714	80.6%	△ 1,344	89.4%
ハルビン線		5,031	64.1%	3,991	45.1%	1,040	126.1%
上海線		2,289	46.9%	2,007	50.3%	282	114.1%
グアム線				703	52.6%	△ 703	
台北線							
定期計		18,690	57.4%	19,415	64.7%	△ 725	96.3%
チャーター便		(2便)		(12便)		(△10便)	
	312	100.0%	1,632	18.0%	△ 1,320	19.1%	
国際計	19,002	57.8%	21,047	53.5%	△ 2,045	90.3%	
合 計	165,171	56.8%	164,235	55.0%	936	100.6%	

(利用率 = 利用者数 / 提供座席数)

3 佐渡航路の動向

(1) 全体

○平成25年輸送実績

- ・ 佐渡航路の輸送実績は、団体バスが減少したこと、前年に佐渡市が世界農業遺産認定を記念して乗用車輸送無料券配布を実施していたことの影響、伊勢神宮の式年遷宮等の観光地のイベント開催の影響等により、全体で162万9千人（対前年比96.4%）となった。

○平成26年1月～5月輸送実績

- ・ 佐渡航路の輸送実績は、49万9千人（対前年比99.3%）となっている。

(2) 航路別

○平成26年1月～5月輸送実績

- ・ 新潟両津航路は、1,054人増加（対前年比100.2%）
- ・ 小木直江津航路は、2,851人減少（対前年比91.0%）
- ・ 寺泊赤泊航路は、1,502人減少（対前年比74.6%）

〈佐渡航路輸送実績〉

○ 近年の航路別輸送実績の推移

(単位：人)

年	全航路		新潟両津航路		小木直江津航路		寺泊赤泊航路	
	輸送実績	対前年比	輸送実績	対前年比	輸送実績	対前年比	輸送実績	対前年比
H20	1,810,071	98.3%	1,549,692	101.9%	208,797	75.5%	51,582	114.4%
H21	1,809,500	100.0%	1,560,458	100.7%	200,625	96.1%	48,417	93.9%
H22	1,688,190	93.3%	1,461,320	93.6%	176,453	88.0%	50,417	104.1%
H23	1,627,866	96.4%	1,415,942	96.9%	168,474	95.5%	43,450	86.2%
H24	1,690,656	103.9%	1,455,219	102.8%	183,522	108.9%	51,915	119.5%
H25	1,629,188	96.4%	1,423,092	97.8%	160,958	87.7%	45,138	86.9%

○ 平成26年 航路別輸送実績（平成26年1月～5月）

(単位：人)

	全航路		新潟両津航路		小木直江津航路		寺泊赤泊航路	
	輸送実績	対前年比	輸送実績	対前年比	輸送実績	対前年比	輸送実績	対前年比
1～5月	498,712	99.3%	465,461	100.2%	28,831	91.0%	4,420	74.6%